

派遣社員(国内外含む)の月次安全教育 (多言語同時通訳による安全教育)

毎月初に製造現場で働く派遣社員に対し、派遣会社に協力頂きながら多言語同時通訳にて安全教育を実施。

製造現場では30%前後の外国人派遣社員が従事しており、過去から災害が多く発生していた為に注力して実施している。

教育資料は事務局にて作製し、全製造拠点へ配信を行う。

【教育構成】

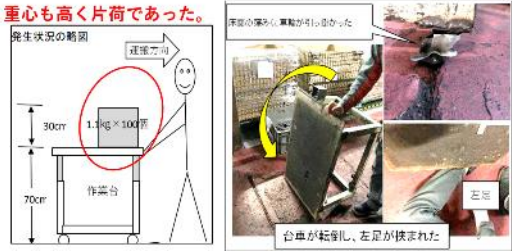
・各月テーマに沿った社内過去災害事例紹介

災害事例 1 台車運搬中の災害

2020年3月10日 左足首間接脱臼骨折 全治約5か月

台車を引いて運搬中、キャストが地面の溝に引っかかり、自分側に、積み荷／台車ともに倒れてきて下敷きとなった。

重心も高く片荷であった。



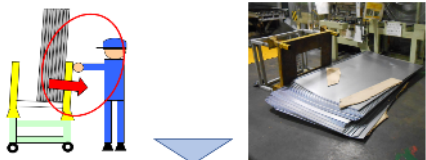
・各事例の『不安全な状態・不安全な行動』にて分析解説とセーフティーポイント説明

災害の共通点

(不安全な状態)
積み荷の重心が高い、偏っている、キャストが小さい

+

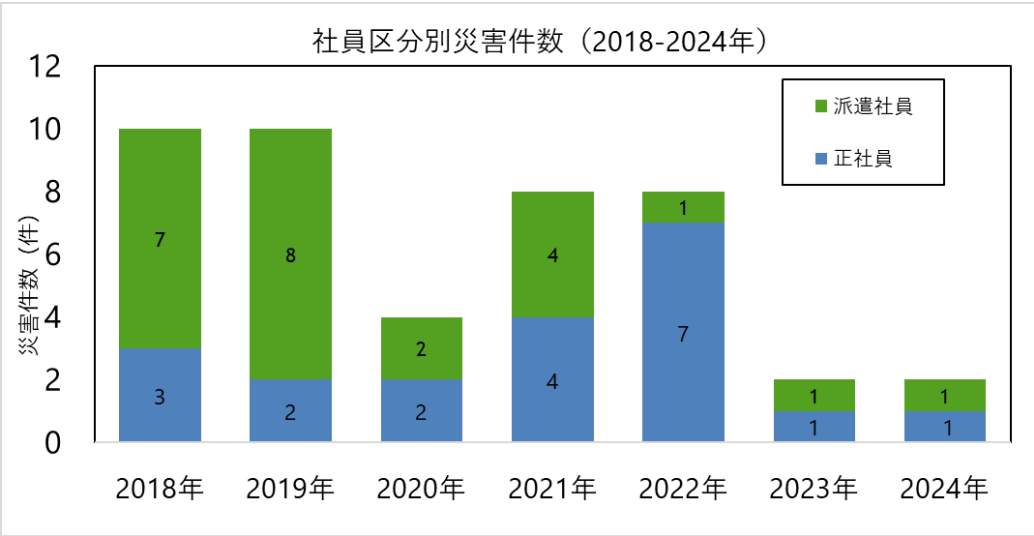
(不安全な行動)
台車を引いて運搬 (自分自身に向かって)



台車運搬中の災害は、重量物を扱っていることもあり、重大災害につながる可能性が高い

・KYT事例にて参加者とディスカッション

Q. コイル巻 (25kg) を台車で運ぼうとしている。
どんな危険が潜んでいるでしょうか



派遣社員による災害件数減少傾向を維持

明日の「働く」を、デザインする。